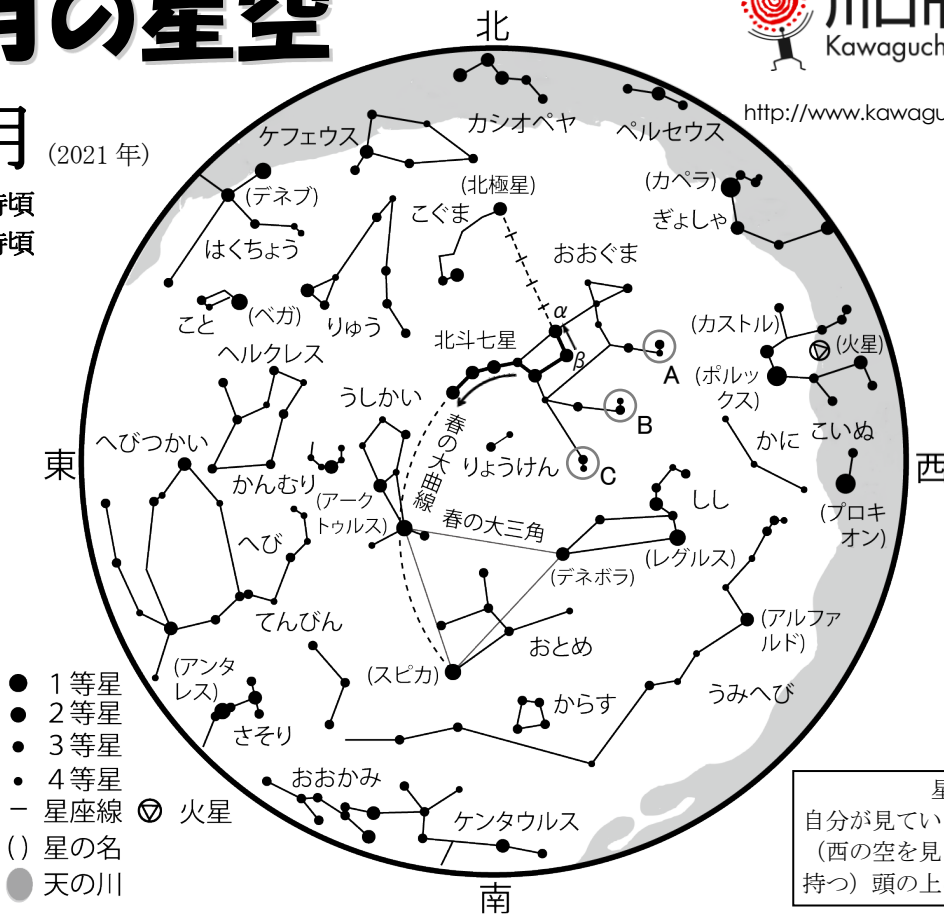


今月の星空

5月 (2021年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方角を下にして、
(西の空を見るときは西を下にして
持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ●下弦 4日、●新月 12日、●上弦 20日、○満月 26日

惑星情報

水星 夕方 西 (おうし座 -1→2等) ※観望目安 5日~26日
火星 夜のはじめ頃 西 (ふたご座 2等)
木星 明け方 南東 (みずがめ座 -2等)
土星 明け方 南東→南 (やぎ座 1等)

★おおぐま座の北斗七星とその活用法

春の夜空高くにある北斗七星。ひしゃくの形に並ぶ7つの星が目印で、オリオン座やカシオペヤ座などと並び、市街地でも見つけやすい星の並びです。この並びは、全天3位の大きさを誇るおおぐま座の一部であり、背中から尾の部分にあたります。おおぐま座としては、北斗七星以外の星が3等以下と暗く、全体像を捉えるのが難しい星座です。ただし、熊の足先にあたる3か所(星図のA, B, C)には、それぞれ3等台の星がペアになっている特徴的な星の並びがあります。

【北極星探し】星図のとおり、北斗七星のβ星からα星に繋いだ線の先、α星-β星の間隔を5つ分延ばした所に見つかります。その他、秋の星座のカシオペヤ座からたどる方法もあります。

【春の大曲線】星図のとおり、ひしゃくの柄(え)の星の並びを延ばしていくと2つの1等星、うしかい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカを繋ぐ大きなカーブができ、これを春の大曲線と呼びます。

★3年ぶりの皆既月食(26日)~地球の日かげに満月が入る~

【5月26日 月の出 18:38(川口市)、部分食の始まり 18:45、
皆既食 20:09~20:28、部分食の終わり 21:53】

月食は太陽と地球、月が一直線に並ぶときに起こります。右図のとおり、地球の影(いわゆる日かげ)の中に満月が入ることで、月が欠けて見えたり、暗く見えたりします。

今回の観察で気を付けたいのは場所選びです。部分食の始まりは月の出直後、皆既食の時間帯でも地平線から約15度という低空で起きるため、南東側が開けた場所を探しておきましょう。

満月が欠けていく様子や皆既食中の月の色が見どころとなりますが、宇宙スケールで見れば、普段見ることのできない地球の巨大な影の存在がわかる貴重な現象とも言えます。

詳しい情報は、右の科学館の解説ページをご覧ください。

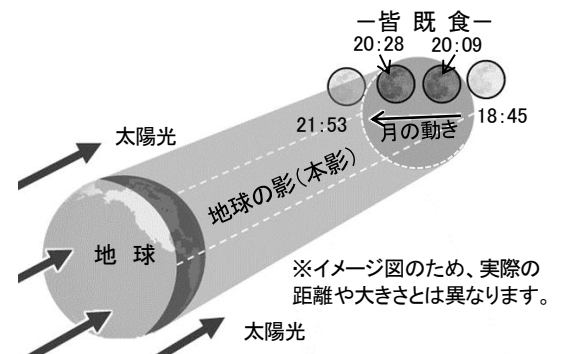


図 宇宙から見た月食のしくみと5/26の月の動き

科学館のライブ配信ページ・
皆既月食解説ページ
http://www.kawaguchi.science.museum/astro/live.html

